

令和4年度「かごしま地域活性化協働推進事業」実施結果

(事業名) 与論島の子育て中の居場所づくり事業「ASiBee(アシビー)」

実施主体

(団体名) 特定非営利活動法人よろん出産子育て応援隊あんまあ〜ず
(担当課名) 大島支庁沖永良部事務所総務福祉課



背景

与論島は自然豊かで、のびのびと子育てができる環境である一方、島内に産科がないことから、出産や不妊治療の際は島外への通院が必要となり、経済的負担が大きい。

地域課題

与論島内での子育てに関する情報が少なく、特にIターン者は頼る人や相談できる人がいないという精神的な負担が重いなど、妊娠・出産、子育てに離島特有の課題がある。加えてコロナ禍で孤立化する問題が生じている。

事業のねらい

与論島での妊娠出産や育児の問題解決を図るため、NPO法人等関係者が協働して、誰もが安心して妊娠出産、子育てができる環境・仕組づくりに取り組む。また子どもを介して誰もが気兼ねなく立ち寄れる場づくりを行うことで世代間の交流にもつながり、「地域で子育てをする」といった機運の醸成を図る。

事業概要

○7月7日:ASiBeeオープン

○定期イベントの実施

(読み聞かせ, ママ筋, ママランチ会, 子供服交換会, 手形アートイベント, WelcomeBaby会, 生まれ月が近いBABY&ママ集まれ会～離乳食編～)

○夏休みイベントの実施(ワークショップ, 宿題DAY)

○山縣文治講演会～ASiBee見学会(自由来館)～

○各種イベントの実施

(ベビーマッサージ, 父SUNDAY, 双子ちゃん交流会, 生まれ月が近いBABY&ママ集まれ会～卒乳&こども園どうする?～編, オンラインピラティス)



成果

- 1 頻りに訪れる母子が数組あり、育児中の悩みなどを共有する等、友達づくりや育児の息抜きに貢献できた。
- 2 各種イベントを実施することにより、ニーズや育児の悩みなどを把握することができた。また社会的な課題等の発見もあった。
- 3 各種専門機関との連携により、それぞれの強みを活かしたイベントを実施することができた。
- 4 本事業で作成したパンフレット、チラシ等による広報により、一定の効果が見られた。
- 5 助産師、保健師、栄養士、定年退職後の保育士、こども園の担当者等との協働によるイベント実施によって、より密接な連携が図られた。



協働の状況

- NPO法人よろん出産子育て応援隊あんまあ〜ず(事業実施主体)
 - 与論町(広報, 情報提供, 講師派遣)
 - 与論町町立図書館(育児本等の選出, 貸出)
- 【事業(イベント)支援】
- ボランティアグループ芭蕉布
 - 吉田富子
 - まなび島
 - 竹下美津子
 - 柳田真希
 - 大島支庁沖永良部事務所総務福祉課

今後の取組

- ・与論島において, 子育てに関する関係機関との連携によるネットワークを構築し, 情報交換ができる場づくりに努めるとともに, 利用者のニーズに合わせた定期的なイベントを実施するなど, 子育て世代が気軽に立ち寄れる居場所の提供を続けていく。



協働事業の感想

団体からの声

・今回の事業を実施したことで, 様々な機能を集約させた「ここに来れば相談できる, 安心できる, 一息つける」と思えるような居場所づくりに大きな一歩を踏み出すことができた。

担当課からの声

・子育て世代のニーズや悩みを把握し, 関係機関の協力のもと, 官民が一体となった各種イベントの実施等により, 気軽に立ち寄れる「居場所」を提供することができた。
今後の取組にも期待したい。